

## 第2次佐野市訪英団

岡部市長を団長として、スポーツ・経済団体関係者ら11名が、9月18日金曜日から23日水曜日までの4泊6日の日程で、英国を訪問しました。

訪問団は、世界有数のクリケットクラブ「マリルボーン・クリケットクラブ」から今後の交流に関する親書をいただいたほか、国際クリケット評議会と友好促進に関する合意書を交わすなどの成果を上げ、「クリケットのまちづくり」に向け友好を深めました。

また、昨年に引き続き、ロンドン市内のトラファルガー広場で開催された「ジャパン祭り」に参加し、来場した多くの人々や参加された来賓・関係者に、スポーツ立市・観光立市といった本市のまちづくりの取り組みを紹介してきました。

その他、英国日本人会や日本スポーツ振興センター・自治体国際化協会ロンドン事務所などを訪問し、本市のクリケットをはじめとしたスポーツや観光物産をつなげる取り組みについて、展望や助言をいただき、貴重な意見交換を行うなど実り多い訪問を行ってきました。

Town Topics  
まちの話題



注目

健康福祉

募集

催し物

お知らせ

講座

施設

子育て

話題



### 出流原小で タグラグビー教室

9月28日、出流原小学校で小学4年生から6年生までの37人の児童がタグラグビーを楽しみました。

この「タグラグビー教室」は体育の授業として行われたもので、佐野ラグビーフットボール協会の片山武夫さん(同協会理事長)、藤掛三男さん(佐野日大高校ラグビー部監督・元日本代表)が講師として、また、同校ラグビー部の9人が参加しました。

児童たちは「前にボールを投げてはいけない」というラグビーの大原則に戸惑いながらも、タグラグビーを楽しみ、教室が終わるころには、多くの児童が笑顔で声を出し合い、ラグビーに必要な「チームワークの精神」を学んでいました



### 各地区で 敬老のお祝い

9月から10月にかけて、敬老のお祝いが各地区で開かれました。

10月2日には、吾妻地区公民館で敬老会が行われ、吾妻小学校児童や吾妻中学校生徒、地域の方々が参加し、参加した高齢者の方々を温かくもてなしました。

9月1日現在、佐野市には100歳以上の方が男性6名、女性が55名、計61名いらっしゃいます。市内の最高齢は、男性が104歳・女性が106歳(平成27年3月31日現在の年齢)の方です。

長生きされる方々に共通されるのは笑顔だそうです。これからも笑顔で長生きしていただきたいですね。





## 第12回 牧歌舞伎定期公演

10月11日、葛生あくとプラザにおいて、<sup>まご</sup>牧歌舞伎保存会主催による「第12回牧歌舞伎定期公演」が開催されました。

牧歌舞伎の起こりは、江戸時代中期の天保年間に江戸歌舞伎の第一人者、関三十郎が地元巡業のうちにこの地を訪れ、地元の若衆組に教えたことが始まりと伝えられているそうです。この牧歌舞伎は、昭和35年には「県下に唯一残る地芝居」として、県の重要文化財に指定されています。今回の公演では、「白波五人男」が上演され、地元先輩役者に加え、常盤中1年生の生徒による可愛らしい五人男も披露されました。

中学生との共演は平成9年から始まり、今回で彼らは19期生とのこと。これからも子どもたちに長く伝承されることを願ってやみません。

(市民記者 葛貫郁子)



## さのラグビー フェスティバル

9月19日、運動公園陸上競技場で、ラグビー元・日本代表選手を招いての「さのラグビーフェスティバル」が開催されました。

これはラグビー佐野招致委員会が主催し、佐野市が共催したもので、2022年に栃木県で開催される国体でのラグビー会場となる予定の佐野市において、ラグビーの機運を盛り上げるために行われたものです。

いらしてくれたラグビー元日本代表選手は、伊藤宏明さんと齋藤祐也さん。おふたりは、午前中は小学生を対象としたタグラグビーを、午後は高校生たちのラグビー教室を担当され、午前中は楽しく、午後は真剣に指導されていました。

また、ゆるキャラたちによるラグビーのドリームマッチが行われるなど、ラグビーを知る人も知らない人もそれぞれが楽しめた一日でした。



## 地域経済活性化 フォーラム

10月2日、佐野商工会議所で、国と市、地域の関係機関で地域の活性化について話し合うフォーラムが、財務省関東財務局の主催により開催され、「中心市街地化の活性化および創業支援による定住促進」をテーマとして、活発に意見を交わしました。

現在、佐野市においても地域活性化のため「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでおり、11月24日からパブリックコメントを実施します。



## そばまつり

10月10日・11日の両日、「第10回佐野市そばまつり」が田沼グリーンスポーツセンターで開催されました。

県内でも有数のそばの生産地である佐野市。この日は、市内の農村レストランなどが一律500円でそばを提供したほか、市内各地区の地場産野菜などが販売され、訪れた多くの方が秋の味覚を楽しんでいました。

市内中山間地域などにある農村レストランでは美味しいそばが提供されています。「新そば祭り」(本紙17ページに掲載)も開催されますので、ぜひ足をお運びください。

